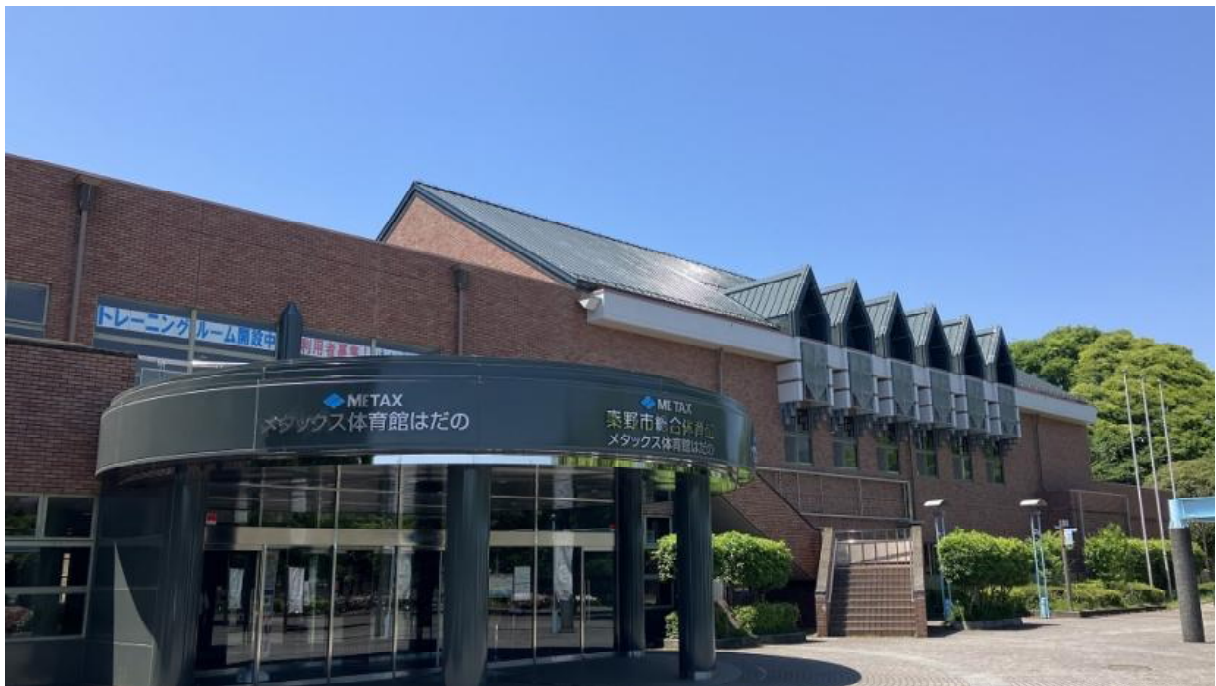




第39回 全日本還暦軟式野球選手権大会 監督会議及び開会式

要 領



監督会議	令和7年10月10日(金)	14:00
会場	秦野商工会議所 1階	101多目的ホール
開会式	令和7年10月10日(金)	15:00
会場	メタックス体育館はだの(秦野市総合体育館)	
主催	全日本還暦軟式野球連盟	
主管	神奈川県還暦軟式野球連盟	

目 次

監督会議日時	1
監督会議座席配置図	2
大会規則に関する事項	3
大会細則及び競技運営に関する事項	5
審判上の注意事項	8
開会式参加要項・連絡事項	10
開会式次第	11
開会式紹介順序	12
選手整列イメージ図	13
閉会式次第	14
大会組合せ	16

監督会議日時

- 1 日 時 令和7年10月10日（金） 14時00分
 - 2 会 場 秦野商工会議所 1階 101多目的ホール
- ※ 受付は、開始20分前までに済ませてください。
そろい次第開始いたします。

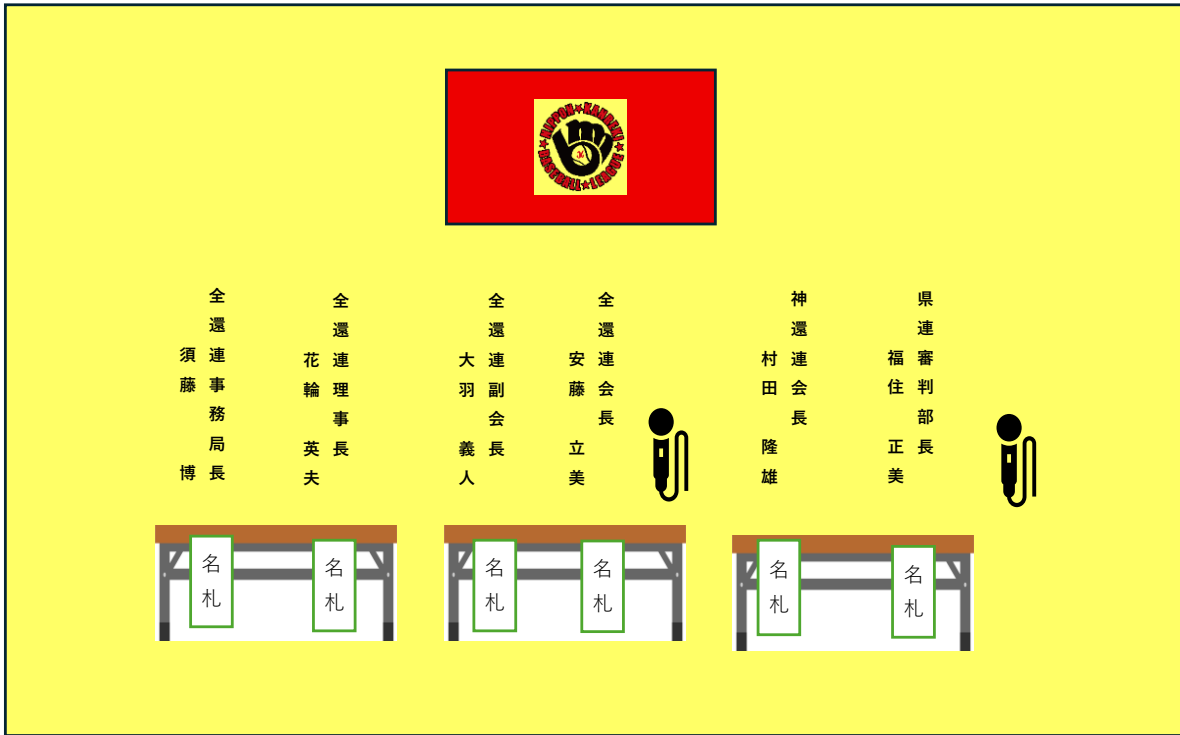

◆会議次第

- 1 開会の言葉
- 2 大会主催者挨拶
- 3 県審判部長挨拶
- 4 大会規則・競技運営に関する注意事項
- 5 質疑応答
- 6 開会式についての注意事項
- 7 その他
- 8 閉会の言葉

◆注意事項

- 1 当日配布物
 - (1) 大会プログラム（オーダー表1部）
 - (2) 監督会議資料（球場案内図）
- 2 持参物
 - (1) 2025年度版公認野球規則及び2025年度版（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携
 - (2) 筆記用具
- 3 監督会議に出席しないチームは、原則として棄権とみなします。
定刻までに遅刻をしないよう、余裕を持って参加をお願いします。
- 4 監督会議には、ユニフォームを着用してご出席ください。

監督会議座席配置図

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	傍聴席	
傍聴席		傍聴席		傍聴席	

* 上の表中、1～64は各チーム抽選番号です。各チーム確認の上ご着席ください。

各席にチーム名入り封筒に、会議資料をご用意しております。

大会規則に関する事項

◆適用規則・大会規則

2025年度公認野球規則及び本大会規則を適用する。

- (1) 試合はトーナメント方式で7回戦とし、同点の場合は特別延長戦を行う。
- (2) 特別延長戦は、一死満塁で継続打順として、前回の最終打者を一塁走者、二塁走者、三塁走者は順次前の打者とする。
- (3) 特別延長戦は2イニングまでとし、決着のつかない場合は抽選とする。(抽選は、両チームのDH選手を除いた最終出場選手9名ずつで行う。)但し、決勝戦は7回終了時点で同点の場合は、特別延長戦を決着がつくまで行う。
- (4) 5回以降得点差が7点以上でコールドゲームを適用する。(決勝戦は除く)
- (5) 投手板と本塁間の距離は16.3m、塁間距離は25mとする。
- (6) 大会使用球は、公認球ナガセケンコーボールM号とする。
- (7) スパイクのデザイン・カラーは自由とする。
- (8) ユニフォームは同色・同意匠とし、企業名を入れてはならない。パンツの形状は、自由とする。
- (9) 不正出場等の規則違反に対しては、全日本還暦軟式野球連盟規約第8条により処理する。
- (10) 参加申し込み後の選手の変更、追加、背番号の変更は認めない。
- (11) 正当な理由なくして途中棄権してはならない。もしその事実があった場合は、その事由の如何を問わず当該チーム、並びに所属ブロック・所属連盟もペナルティの対象とする。
- (12) サングラスは認める。但し、ミラーレンズは禁止とする。
- (13) 臨時代走は打者が頭部他に死球を受けた場合、又は打者走者が守備側選手と衝突負傷した場合に限り認めるが、事故負傷したときに代走を出す場合には選手交代とする。
- (14) 9人制又は10人制の選択制とする。

(15) 10人制を選択した場合の注意点

- ① DH選手は守備には就けないが、打順は自由で代打・代走も送れる。
- ② 先発のDHは、相手投手が交代しない限り、一度は打席に立たなければならない。
- ③ 守備についた選手は、DHにはなれない。
- ④ 試合前メンバー交換時にDHの採用の有無を選択できるが、以降の変更はできない。

(16) 申告敬遠を採用する。

- (17) 出場チームは必ずスポーツ傷害保険に加入し、健康保険証を持参のこと。
大会期間中の傷害等についての本部での対応は応急手当までとし、それ以降はチームまたは選手個人の負担とする。

大会細則及び競技運営に関する事項

- 1 出場チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに必ず球場に到着していること。試合開始予定時刻を超過しても、何らかの連絡もなくチームが到着していない時は、当該チームは棄権として処理する。
- 3 出場チームは、球場に到着後本部にて受付を行うこと。
- 4 各会場とも、第1試合は午前9時の開始とする。但し、第1日目のA及びBの会場は、午前8時30分の開始とする。
- 5 第2試合目からは、前の試合終了後より、20分を目安に開始する。
- 6 第2試合以降のチームは、前の試合終了と同時に球場に入り、道具をベンチ外の外野側に置きアップを開始すること。
- 7 第2試合以降の先発バッテリーは、攻守決定後、球場内の所定の場所にて、審判員の指示により投球練習を認める。
- 8 ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。但し、試合連続の場合はベンチ移動せず、対戦チームは空き側ベンチに入ること。
- 9 第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前に、以降の試合のチームについては、前の試合の4回終了時に、それぞれ主将がオーダー表5部を大会本部に提出し、登録原簿との照合を受けた後に、本部役員、審判員立会いのもと攻守を決定する。
- 10 オーダー表は先発メンバーのみの記入とし、交代選手はプログラム記載の参加申込書により行う。
- 11 監督、主将の変更(代行)は、当日試合前の打順表提出時に会場本部、審判員、相手チームの確認のもとに行う。

- 12 大会運営上試合前のシートロックは行わない。
- 13 ベンチ入りできる者は、ユニフォームを着用した監督・選手。他に代表者・マネージャー及び記録員 各1名とする。
- 14 選手交代は、監督が同行して球審のところに行き交代を告げ、背番号を本部席、相手チームに見せ、確認後、打撃、守備、走者につくこと。
- 15 日没、降雨その他の理由によって、審判員が試合の続行不可能と認めた時点で、すでに5回を完了している場合には、それまでの得点によって勝敗を決する。但し、同点の場合、または5回を完了していない場合は、翌日の第一試合に先立って特別継続試合を行う。
- 16 試合進行上の異議の申し立ては、必ずそのチームの監督又は当該プレーヤーの内一人とする。もし、監督が不在の場合は、事前に大会本部へ代理を申し出しておくこと。
- 17 打者、走者、次打者、コーチスボックスは必ずヘルメットを着用すること。
- 18 捕手はマスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを必ず着用すること。また、攻守交替時の投手の投球を補佐する選手もマスク、ヘルメットを着用すること。
- 19 金属、ハイコン（複合）バットは連盟公認（JSBBマーク付）に限る。
- 20 試合中に雷が発生した場合は、直ちに試合を中止して全員安全な場所に退避し、気象条件を把握・判断して再開等を本部で決定する。
- 21 試合中のファウルボールは両チームによって回収し係員に渡すこと。
- 22 試合中、次打者以外の者がみだりにベンチを出る行為は禁止する。但し、競技の準備をする者、ボールデッドのボールを処理する者は除く。また、ベンチ内で携帯電話を使用することは厳禁とする。
- 23 球場ごとのローカルルールについては、審判員の指示に従うこと。

24 雨天の場合でも大会本部より連絡のないかぎり試合は行う。

25 雨天の試合中止連絡

早朝雨天の場合は午前7時から、第1試合チーム順に各連絡責任者あて、大会本部から連絡する。その他の場合は、大会本部にて天候状況等を判断して随時当該チームに連絡する。

26 その他

チームで出たゴミ等は、必ず持ち帰るようご協力をお願いします。

審判上の注意事項

- 1 試合は迅速に運ぶよう努め、攻守の交代は駆け足で行うこと。特に野手は注意すること。但し、投手に限り内野地域内は歩行しても差し支えない。また監督等もマウンドへの往復は駆け足で行うこと。
- 2 投手の投球練習は、初回6球(投手交代時も同様)、以降は3球とする。
- 3 攻守交代時の際、最後の野手は必ず投手板上にボールを置くこと。
- 4 投手が捕手のサインを見る時は、走者の有無に関わらず必ず投手板に着いて見ること。
- 5 打者はみだりにバッターボックスを離れないこと。打者がベンチからのサインを見るときは打者席から見ること。打者がみだりに打者席を外した時は、球審はタイムをかけずに投手の投球に対して正規に判定する。
- 6 各イニング投球練習時の先頭バッターは、ネクストバッタースボックスで待機する。
- 7 試合中の内野手間の転送球はイニング開始前の一回りとし、最終内野手は定位置から投手に返球すること。ただし、試合の進行状況や天候によっては転送球を禁止することがある。
- 8 タイムは1分以内とする。但し、審判が認めた場合はこの限りではない。試合中意図的にスパイクの紐を結びなおすためのタイムは認めない。ベンチからのタイムは、攻守ともに3回とする。(投手交代は除く。)但し、バッテリー間のタイムはカウントしない。
- 9 本塁打の走者を迎える場合は、ベンチ前とする。
- 10 ベンチ前でのキャッチボールは禁止する。
- 11 守備側からのタイムの要求で試合が中断された場合は、その間投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない。
- 12 グラウンドルールについては、担当審判員が各球場にて説明を行う。

【大会事務局】

〒239-0822 神奈川県横須賀市浦賀3-22-8
第39回全日本還暦軟式野球選手権大会事務局
神奈川県還暦軟式野球連盟 理事長 芝塚貞夫
携帯 : 080-7407-8303
e-mail : shibazuka0708@yahoo.co.jp

大会運営に関する問い合わせは、下記までお願いします。

〒234-0051 横浜市港南区日野8-33-1-206
第39回全日本還暦軟式野球選手権大会
大会運営委員長 後藤 孝
電話 : 045-843-3043
携帯 : 090-6024-9509

宿泊斡旋

【名鉄観光サービス株式会社 小田原支店】

第39回全日本還暦軟式野球選手権大会事務局 担当：木村 哲也
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1丁目6-1 第一生命ビル6階
電話 : 0465-23-3238
e-mail : odawara@mwt.co.jp
営業時間 9:30~17:30 (カウンター 10:00~17:00)
休業日 土・日・祝日

開会式参加要項・連絡事項

- 1 開会式は、10月10日（金）15時00分からメタックス体育館はだの（秦野市総合体育館）で行います。
受付は、13時30分までに完了し、係員の指示に従ってチームごとに指定された席にお座りください。
- 2 開会式には、参加申込書に記載された全員の参加が望ましいが、都合で参加できなくても試合には出場できます。ただし、開会式には10名以上は必ず参加してください。
- 3 同一チームの選手・監督（コーチを含む）は、全員同色、同型、同意匠のユニフォームを着用してください。
- 4 所定の団旗を持参してください。
- 5 選手宣誓時、各チームの団旗保持者は宣誓者のまわりに立ち、宣誓者は右手を掲げて宣誓してください。

開 会 式 次 第

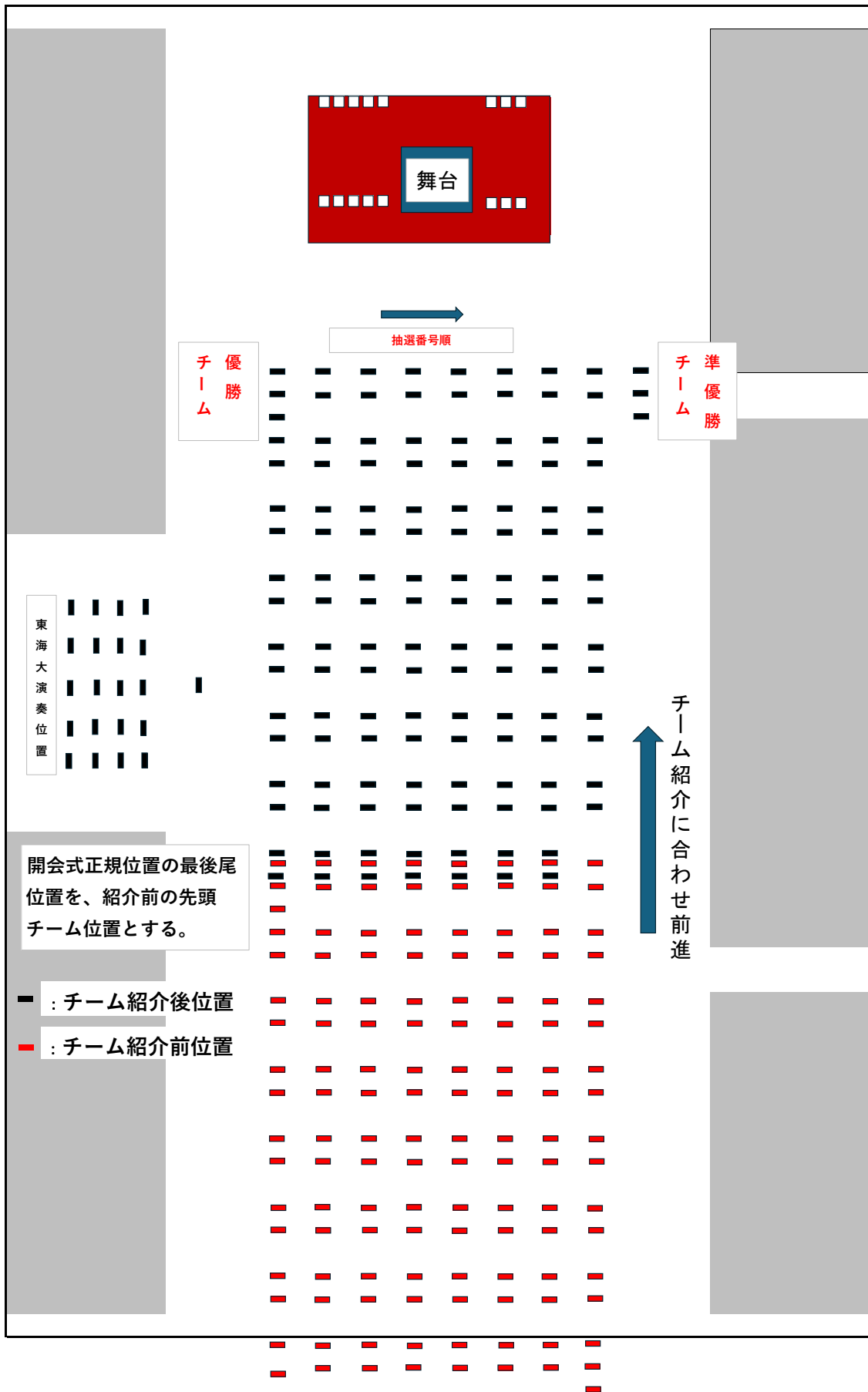
- 1 チーム入場及び紹介
- 2 開式宣言
全日本還暦軟式野球連盟
理 事 長 花 輪 英 夫
- 3 国歌斉唱
- 4 優勝旗・準優勝旗返還
- 5 大会会長挨拶
全日本還暦軟式野球連盟
会 長 安 藤 立 美
- 6 来賓祝辞
神奈川県知事 黒 岩 祐 治
秦 野 市 長 高 橋 昌 和
全日本軟式野球連盟
会 長 山 口 宏
- 7 来賓・主催者紹介
- 8 選手宣誓
大分県 バロンズシルバー
監 督 朝 来 浩 一 郎
- 9 閉式宣言
- 10 来賓・役員退場
- 11 女子野球デモンストレーション

開 会 式 紹 介 順 序

	都道府県名	チーム名
1	大分県	バロンズシルバー
2	大阪府	泉大津ジュビターズ
3	山口県	周南愛球会
4	徳島県	吉野川クラブ
5	北海道	札幌迷球会
6	山形県	オール鶴岡
7	新潟県	みつけ還暦野球クラブ
8	神奈川県	横須賀シニアクラブ
9	岩手県	矢巾やまゆりクラブ
10	東京都	京葉シルバース
11	千葉県	市原クラブコスモス
12	愛知県	岡崎レッドスターズ野球倶楽部
13	茨城県	うしくゴールデンボーイズ
14	岐阜県	岐阜ゴールドスターズ
15	宮城県	宮城ドリームズ
16	埼玉県	さいたまクラブ
17	岐阜県	美濃加茂クラブ
18	群馬県	前橋還暦ボーイズ
19	大分県	大分東シルバークラブ
20	岩手県	盛岡見前BON
21	沖縄県	オールウェイズ
22	千葉県	千葉年輪クラブ
23	新潟県	新潟エージレス野球クラブ
24	福島県	福島シルバー野球クラブ
25	静岡県	静岡スピリッツベースボールクラブ
26	東京都	東京23クラブ
27	兵庫県	姫路チャンピオン
28	茨城県	日立球友クラブ
29	北海道	苫小牧シニア倶楽部
30	岡山県	岡山DaDaクラブ
31	宮城県	オール石巻
32	神奈川県	横浜港南クラブ

	都道府県名	チーム名
33	新潟県	新潟ライオンズ
34	東京都	杉並スーパーシニア
35	京都府	京都クラブ
36	福井県	敦賀きらめきクラブ
37	広島県	広島クラブ
38	茨城県	オール東海
39	静岡県	静岡沼駿クラブ
40	北海道	還暦札幌野球クラブ
41	宮城県	大崎野球クラブ
42	兵庫県	三田プリンス
43	岩手県	川崎OBクラブ
44	大分県	臼杵シルバー
45	沖縄県	レッドファイヤー
46	群馬県	高崎高陽クラブ
47	福島県	いわき泉野球クラブ
48	神奈川県	アツギJ Jクラブ
49	大分県	中津シルバー
50	栃木県	栃木還暦野球クラブ
51	青森県	あおもりシーホース
52	神奈川県	横浜球和会
53	兵庫県	芦屋ジェンツクラブ
54	福井県	丹南クラブ
55	秋田県	秋田還球クラブ
56	愛知県	豊田フェニックス
57	沖縄県	あだん宮古B B C
58	群馬県	東還暦野球クラブ
59	静岡県	ハーバー清水クラブ
60	京都府	京都シニアスターズ
61	山口県	宇部クラブカタタ君
62	埼玉県	戸田クラシックアローズ
63	岩手県	東山シニア
64	千葉県	千葉スターズ

選手整列イメージ図



閉会式 次第

決勝戦 終了 30分後目途に開始する

1. 役員整列 MCアナウンス(場内アナウンサー)
2. 選手入場 整列
3. 開式宣言
4. 成績発表 神奈川県 審判部長 福住 正美
5. 表彰 全還連 会長 安藤 立美
6. 個人表彰 全還連理事長 花輪 英夫
7. あいさつ 全還連 会長 安藤 立美
8. 国旗等の降納 MC BGM
9. 閉式宣言 MC
10. 選手退場

記念撮影

閉会式レイアウト

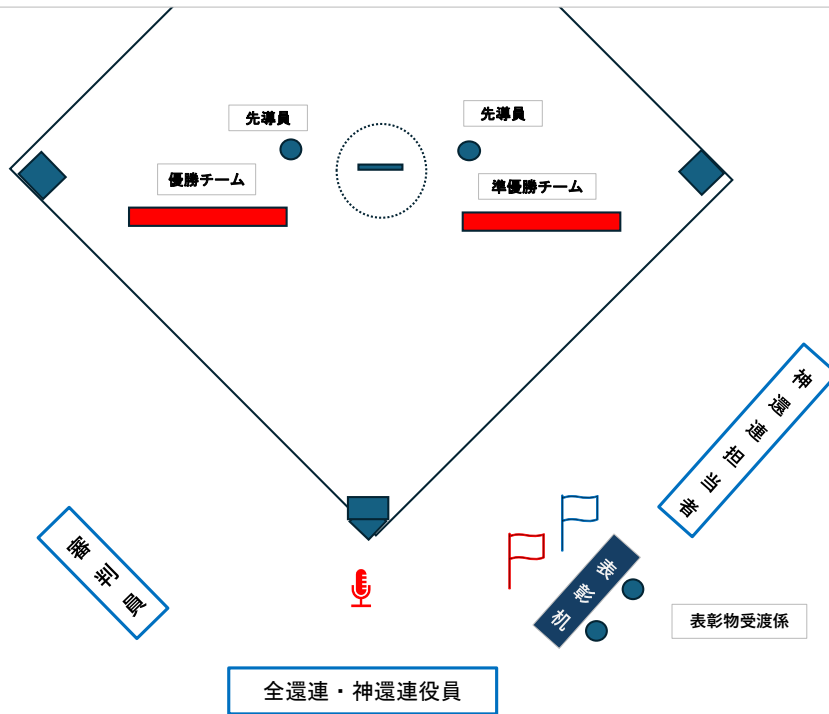
選手入場手順

3塁側チーム優勝時

- ・両チームベンチ前から定位置に進み、先頭が定位置で停止、後続も停止、整列。
(先導員が誘導)

1塁側チーム優勝時

- ・ベンチ前から定位置に向かい、1塁側チームがホームよりを歩き、両チームがすれ違う。
- ・各チーム先頭が定位置で停止、後続は先頭を追い越し、定位置へ進み、整列。



表彰物

優勝チーム

- ・優勝旗
- ・優勝カップ
- ・優勝メダル
- ・表彰状

準優勝チーム

- ・準優勝旗
- ・準優勝カップ
- ・準優勝メダル
- ・表彰状

個人賞

- ・優勝監督賞
- ・最優秀選手賞
- ・敢闘賞
- ・打撃賞

第39回 全日本還暦

日時 令和7年10月11日(土)～14日(火) 予備

A : 中栄信金スタジアム秦野 B : 厚木玉川球場 C : 星槎中井スタジアム
 D : いせはらサンシャイン・スタジアム E : 南足柄球場 F : 綾瀬スポーツ公園第一球場
 G : 小田原球場 H : あやせノーブルスタジアム I : 茅ヶ崎球場 J : 座間市民球場

都道府県	チーム名	抽選	1日目	2日目	3日目	4日
大分県	バロンズシルバー	1	A 1	D 1	D 3	1日目：A・B 第1試合 第2試合 第3試合 第4試合
大阪府	泉大津ジュピターズ	2				
山口県	周南愛球会	3				
徳島県	吉野川クラブ	4				
北海道	札幌迷球会	5	A 3	D 2	B 1	
山形県	オール鶴岡	6				
新潟県	みつけ還暦野球クラブ	7				
神奈川県	横須賀シニアクラブ	8				
岩手県	矢巾やまゆりクラブ	9	C 1	H 1	H 3	
東京都	京葉シルバース	10				
千葉県	市原クラブコスモス	11				
愛知県	岡崎レッドスターズ野球倶楽部	12				
茨城県	うしくゴールデンボーイズ	13	C 3	H 2	B 3	A 1
岐阜県	岐阜ゴールドスターズ	14				
宮城県	宮城ドリームズ	15				
埼玉県	さいたまクラブ	16				
岐阜県	美濃加茂クラブ	17	D 2	A 1	A 3	
群馬県	前橋還暦ボーイズ	18				
大分県	大分東シルバークラブ	19				
岩手県	盛岡見前BON	20				
沖縄県	オールウェイズ	21	E 1	A 2	B 2	
千葉県	千葉年輪クラブ	22				
新潟県	新潟エージェレス野球クラブ	23				
福島県	福島シルバークラブ	24				
静岡県	静岡スピリッツベースボールクラブ	25	E 3	G 1	G 3	
東京都	東京23クラブ	26				
兵庫県	姫路チャンピオン	27				
茨城県	日立球友クラブ	28				
北海道	苫小牧シニア倶楽部	29	F 2	G 2		
岡山県	岡山DADAクラブ	30				
宮城県	オール石巻	31				
神奈川県	横浜港南クラブ	32				

軟式野球選手権大会

日15日(水)

試合開始時間

第1試合 9:00

第2試合 11:00

第3試合 13:00

日	3日目	2日目	1日目	抽選	チーム名	都道府県		
会場(4試合) 8:30 10:30 12:30 14:30	A 3	A 2	F 3	J 3	33	新潟ライオンズ	新潟県	
				F 2	J 3	34	杉並スーパーシニア	東京都
				F 1	J 2	35	京都クラブ	京都府
					J 1	36	敦賀きらめきクラブ	福井県
A 1			B 3	B 2	I 3	37	広島クラブ	広島県
					I 2	38	オール東海	茨城県
				B 1	I 1	39	静岡沼駿クラブ	静岡県
					H 3	40	還暦札幌野球クラブ	北海道
		A 3	E 3	B 2	I 2	41	大崎野球クラブ	宮城県
					I 1	42	三田プリンス	兵庫県
				B 1	H 3	43	川崎OBクラブ	岩手県
					H 2	44	白柺シルバー	大分県
E 1			E 2	H 1	45	レッドファイヤー	沖縄県	
				G 3	46	高崎高陽クラブ	群馬県	
			G 2	G 3	47	いわき泉野球クラブ	福島県	
				G 1	48	アツギJJクラブ	神奈川県	
C 3	C 2	E 3	H 1	49	中津シルバー	大分県		
			G 3	50	栃木還暦野球クラブ	栃木県		
		C 1	G 2	51	あおもりシーホース	青森県		
			G 1	52	横浜球和会	神奈川県		
	C 1	C 2	G 2	53	芦屋ジェンツクラブ	兵庫県		
			G 1	54	丹南クラブ	福井県		
		B 2	B 4	55	秋田還球クラブ	秋田県		
			B 3	56	豊田フェニックス	愛知県		
C 1	C 2	B 4	57	あだん宮古BBC	沖縄県			
		B 3	58	東還暦野球クラブ	群馬県			
	C 1	B 3	59	ハーバー清水クラブ	静岡県			
		B 2	60	京都シニアスターズ	京都府			
C 1	C 1	B 2	61	宇部クラブカッタ君	山口県			
		B 1	62	戸田クラシックアローズ	埼玉県			
	B 1	B 1	63	東山シニア	岩手県			
		B 1	64	千葉スターズ	千葉県			

